

「第41回全国きき酒選手権大会」レポート

リアル開催は2019年以来3年振り
個人の部は有村和彦さん（香川県）が優勝
団体の部は熊本県（小松さん・藤川さん）が優勝
大学対抗の部は千葉大学（中沢さん・山田さん）が優勝



個人の部優勝 有村和彦さん(香川県)



団体の部優勝 = 熊本県(小松・藤川ペア)



大学対抗の部優勝 = 千葉大学(中沢・山田ペア)

全国各地のきき酒名人が日本一の座をかけて自慢の腕を競い合う、「第41回全国きき酒選手権大会」が10月21日東京都新宿区のリーガロイヤルホテル東京で開催されました。きき酒選手権大会は、日本酒の魅力や文化を幅広く知ってもらうことを目的に、1981年より開催され今年で41回目となる歴史のある大会ですが、コロナウィルス感染拡大の影響もあり、リアル開催は2019年以来の3年振りの開催となりました。





32都道府県の代表選手計66名が、筆記試験ときき酒競技で、個人戦と団体戦の優勝の座を目指し競い合う。

今年は32都道府県の代表選手、計66名が参加する「個人の部」と各都道府県の代表2名の合計点で競い合う「団体の部」が、それぞれアマチュアきき酒日本一の座をかけて競い合いました。

また8大学10組20名で大学対抗の部も実施されました。

開催にあたって挨拶した七田需要開発委員長は「3年ぶりのリアル開催ができて嬉しく思います。皆様の健闘をお祈りしております」と開催に対する思いを話されました。



七田需要開発委員長



第39回大会団体優勝の青森県代表(小林・佐藤ペア)が七田委員長に優勝杯の返還



第39回団体準優勝の福島県代表(武田・池田ペア)が選手宣誓



大学対抗の部には8大学10組20名が参加



審査委員長の中央会の宇都宮理事より競技説明

〔審査基準〕

審査の基準は、「筆記試験」と「マッチング法」の2種類。筆記試験は、中央会が監修の日本酒好きでも即答が難しい問題になっています。多種多様な表情を持つ日本酒を見極め、精緻な分析力が欠かせないマッチング法は、7種類の異なる日本酒を色や香り、味わいからきき分け、好みの順位をつけます。さらにもう一度きき酒し、1回目につけた順位と照合。整合性が取れているほど、順位が高くなります。マッチング法で同点となった場合はプレイオフを実施し、それでも差がつかなかった場合は筆記試験の点数が多い方を上位とします。



筆記試験は全問正解者がいないほどの大会史上最高難度となり、上位9名を成績優秀者として発表しました。

事前に送付されたテキストと2種類の冊子より出題された「筆記試験」の設問数は30問と過去の1.5倍にも関わらず、回答時間は過去と同じという厳しい条件で実施されました。そのためか全問正解者は一人もおりませんでした。上位9名を成績優秀者として発表いたしました。



真剣な表情で、問題に取り組んでいる代表選手たち



大学対抗の部の選手たちも同様に問題を解いていく



きき酒競技は7分×2回の真剣勝負！自身の味覚・嗅覚・視覚を信じて、好きな日本酒の組み合わせ選び出していく。

7種類の日本酒を味・香り・色を頼りに2回きき酒して好きな順位をつけていきます。1回目と2回目の順位の差が少ないほど上位となり、今回は上位同点者が多数となりました。そのため例年同様にプレイオフを実施し順位を確定させました。



きき酒競技(1回目)の様子



きき酒競技(大学対抗の部)の様子



きき酒競技(プレイオフ)の様子



プレイオフの時間でセミナーも実施



コロナ禍での新しい方法を取り入れ懇親会も3年ぶりに実施

主催者挨拶・乾杯発声は中央会佐浦副会長が務め、「懇親会は文字通り全国の日本酒愛好家が懇親を交わす場として、3年ぶりに実施できて本当に良かった」と話されました。コロナ禍でもあり、着席buffeや感染対策の協力へのお願いなど新しい方法で実施されました。



中央会佐浦副会長



新しく着席式buffeで懇親会を実施



着席式の懇親会では食事以外はマスクを着用



料理を取る際は手袋にマスク着用



各地の日本酒も並びました。



日本酒はスタッフが注いで対応

🏆 成績発表・表彰式 🏆

熱戦が繰り上げられたきき酒選手権大会の各部門の成績発表・表彰式では、ステージ上に個人の部、団体の部、大学対抗の部の第3位～優勝者が登壇し賞状や副賞が授与され、参加者全員から大きな拍手で祝福されました。

個人の部



第3位＝藤川美奈子さん(熊本県)



準優勝＝工藤美香子さん(東京都)



優勝＝有村和彦さん(香川県)

団体の部



第3位＝香川県(末友・有村ペア)



準優勝＝山形県(内田・兵庫ペア)



優勝＝熊本県(小松・藤川ペア)

大学対抗の部



第3位＝佐賀大学(伊東・上田ペア)



準優勝＝早稲田大学(實勲・宇都宮ペア)



優勝＝千葉大学(中沢・山田ペア)



宇都宮審査委員長より
正解発表



左から、おちょこ君、団体優勝(熊本県小松・藤川ペア)、
個人優勝(香川県有村和彦さん)、中央会佐浦副会長、
JA全農 桑原 原材料課課長



全国農業協同組合連合会
米穀部 原材料課課長
桑原 真一郎様よりご挨拶